2021（令和 3）年度後期

教学改善のための授業評価アンケート

報告書

大阪成蹊短期大学

調査概要

授業評価アンケート結果

集計データ

調査票

調査概要

1） 調査目的

授業評価アンケートは、本学教学改革の一環として、授業改善を第一の目的として実施するものである。個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学習成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としている。また、ピアノ科目にはピアノ科目用の授業アンケートを実施している。

2） 調査項目

＜一般科目＞

・回答者の基本属性（学籍番号、所属学科・コース、学年、性別、学生区分）
・「授業への学生の取り組み」に関する項目（6問）
・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（16問）
・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）
・自由記述項目（1問）

＜ピアノ科目＞

・回答者の基本属性（学籍番号、所属学科・コース）
・「授業への学生の取り組み」に関する項目（5問）
・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（10問）
・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）
・自由記述項目（1問）

3） 調査対象

本学の2021（R3）年度後期開講の全授業（※ピアノ科目以外の10名未満のクラス、及び、13週目までに終了するクラスについては、担当教員の任意で実施）、及びこれらの授業を履修している全学生

4） 調査方法

質問紙（マークシート）とWEBアンケートシステムを併用して調査を実施した。質問紙を用いた実施手順は、下記の通り。

①各授業の終了前15分程度を使用する。
②質問紙の配付・回収は、教員と、教員が指名した学生2名が協力して行う。
③回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。
④質問紙の配付後は、教員は教室内で待機し、質問紙の回収を確認する。
⑤指名学生は質問紙を回収後、回収用封筒に封入・封緘し、教務課に提出する。

5） 調査期間

2022（R4）年1月7日（金）～2022（R4）年1月24日（月）（※原則、授業の13週目に実施）

6） 調査主体

大阪成蹊短期大学

7） 調査実施率と有効回答率

◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当所属	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	27 科目	27 科目	100.0%
	調理・製菓学科　調理ｺｰｽ	33 科目	33 科目	100.0%
	調理・製菓学科　製菓ｺｰｽ	15 科目	15 科目	100.0%
	調理・製菓学科　FCｺｰｽ	15 科目	15 科目	100.0%
	栄養学科	40 科目	39 科目	97.5%
	幼児教育学科	215 科目	213 科目	99.1%
	観光学科	40 科目	40 科目	100.0%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	17 科目	17 科目	100.0%
	経営会計学科	32 科目	32 科目	100.0%
	共通科目	65 科目	65 科目	100.0%
	教職科目	4 科目	4 科目	100.0%
	司書・司書教諭科目	7 科目	7 科目	100.0%
2020（R2）前期　計		510科目	507科目	99.4%

◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属学科等	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科		766名	
	調理・製菓学科　調理ｺｰｽ		772名	
	調理・製菓学科　製菓ｺｰｽ		626名	
	調理・製菓学科　FCｺｰｽ		226名	
	栄養学科		1,681名	
	幼児教育学科		4,744名	
	観光学科		1,023名	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科		342名	
	経営会計学科		739名	
	（所属学科等不明、その他）		145名	
2021（R3）後期　計		13,324名	11,064名	83.0%

※「延べ履修者数」は、学生1名が複数の調査対象科目に履修登録している場合、履修科目ごとに1名としてカウントした。

※「延べ有効回答者数」は、学生1名が調査期間中に複数の調査対象科目に出席し、且つ、アンケート用紙に回答した場合、回答した科目ごとに1名としてカウントした。ただし、アンケート用紙に1問も回答がない（回答者の基本属性を含む。自由記述は除く）ケースについては、無効回答として集計対象から除外した。

8） 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業改善計画書を作成し、次期授業の中で改善計画を実践していく。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果

◆経年比較

※29問中「1」または「5」の解答が27以上のケースは除いている。

※履修者数10名未満の科目は除いている。

	2020 後期		2021 前期		2021 後期	
Ⅰ授業への学生の取り組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．この授業への出席状況	4.06	1.20	4.52	0.90	4.06	1.15
２．この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	4.14	1.01	4.28	0.94	4.21	0.96
３．「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした１週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	1.62	1.01	1.59	0.94	1.53	0.93
４．「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした１週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	1.45	0.86	1.41	0.79	1.41	0.82
５．この授業の難易度（自分にとって）	3.37	0.73	3.42	0.73	3.38	0.71
６．私はこの授業のシラバスを活用した。	2.56	1.19	2.66	1.10	2.55	1.17
Ⅱ授業内容と授業の進め方（授業運営）	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.13	0.95	4.18	0.94	4.19	0.92
２．教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.14	0.95	4.18	0.94	4.20	0.91
３．教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.17	0.89	4.23	0.89	4.24	0.86
４．教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	4.17	0.89	4.22	0.89	4.24	0.85
５．教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	4.18	0.90	4.24	0.88	4.26	0.86
６．学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	4.20	0.89	4.24	0.88	4.26	0.84
７．教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.23	0.85	4.30	0.82	4.30	0.80
８．テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	4.19	0.89	4.24	0.88	4.24	0.86
9-1.（講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	4.20	0.88	4.26	0.87	4.24	0.86

10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.29	0.83	4.36	0.80	4.35	0.80
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.32	0.81	4.41	0.77	4.38	0.76
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.23	0.86	4.29	0.83	4.30	0.81
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	4.22	0.87	4.28	0.84	4.29	0.82
14. 教員はよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	4.21	0.87	4.28	0.85	4.28	0.83
15. (該当者のみ)対面授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	4.27	0.83	4.40	0.77		
16. (該当者のみ)遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom など)を適切に使用していた。	4.23	0.86	4.37	0.79		
Ⅲ授業を通して得られたこと（学習達成）	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.22	0.82	4.26	0.82	4.28	0.80
２．学習力や思考力が高まった。	4.16	0.85	4.21	0.85	4.23	0.82
３．知的好奇心や探究心が高まった。	4.12	0.87	4.16	0.87	4.18	0.85
４．考え方や社会的視野が広がった。	4.13	0.86	4.17	0.87	4.20	0.84
５．コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	4.04	0.92	4.08	0.94	4.14	0.89
６．シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度など）を達成できた。	4.01	0.89	4.05	0.90	4.09	0.87
７．これから生きていくうえで役立つと思う。	4.26	0.82	4.33	0.82	4.32	0.79
８．全体として、この授業を受けて満足した。	4.25	0.85	4.30	0.85	4.30	0.82

2021年度後期の各数値は、これまでとほぼ同じ傾向を示している。

出席については前期に比べて低下しているが、2020年度後期と同程度のため、例年通りの傾向と考えられる。

また満足度については、ここ数期はしばらく4.2以上となっており、学生からの満足度は高止まりのように推測される。

◆平均（実施形態別）

※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

※履修者数10名未満の科目は除いている。

	対面		遠隔		併用		全体	
Ⅰ取り組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 出席	4.06	1.15	4.33	1.16			4.06	1.15
2 熱心	4.21	0.96	3.89	0.98			4.21	0.96
3 学習時間	1.53	0.93	1.41	0.78			1.53	0.93
4 全学習時間	1.41	0.82	1.36	0.84			1.41	0.82
5 難易度	3.37	0.71	3.57	0.72			3.38	0.71
6 シラバス	2.55	1.17	2.52	1.12			2.55	1.17
Ⅱ授業運営	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 簡潔説明	4.20	0.91	3.58	1.10			4.19	0.92
2 理解度	4.21	0.90	3.54	1.10			4.20	0.91
3 関心工夫	4.25	0.85	3.55	1.08			4.24	0.86
4 学び深める	4.25	0.84	3.69	1.01			4.24	0.85
5 授業参加	4.27	0.84	3.45	1.18			4.26	0.86
6 ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	4.28	0.83	3.57	1.15			4.26	0.84
7 位置付け	4.31	0.79	3.90	0.93			4.30	0.80
8 配布資料	4.25	0.86	3.78	1.03			4.24	0.86
9 資料実技	4.25	0.86	3.83	1.00			4.24	0.86
10 熱意	4.36	0.79	3.87	1.01			4.35	0.80
11 準備	4.39	0.76	4.13	0.89			4.38	0.76
12 マナー	4.31	0.80	3.74	1.07			4.30	0.81

	対面		遠隔		併用		全体	
13 集中指導	4.30	0.81	3.64	1.05			4.29	0.82
14 授業改善	4.29	0.82	3.74	1.06			4.28	0.83
15 教育設備								
16 授業ﾂｰﾙ								
Ⅲ学修達成	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 専門性	4.29	0.80	3.85	0.99			4.28	0.80
2 学習思考力	4.23	0.82	3.80	0.98			4.23	0.82
3 好奇探求心	4.19	0.84	3.75	1.00			4.18	0.85
4 視野考え方	4.21	0.84	3.91	0.98			4.20	0.84
5 コミュ力	4.15	0.88	3.59	1.04			4.14	0.89
6 ｼﾗﾊﾞｽ達成	4.10	0.87	3.62	0.93			4.09	0.87
7 役立ち	4.33	0.79	4.06	0.89			4.32	0.79
8 満足	4.31	0.82	3.86	0.99			4.30	0.82

今季の調査では、併用授業が記録されていないため、分析から除外している。
対面の授業は全体に高く、遠隔の授業は全体的に低い傾向が認められる。しかし遠隔授業は全体の1.9%を占める（510科目中、10科目のみ）だけであるため、遠隔授業の影響と授業内容とが交絡しているものと推測される。

◆条件による「授業運営」尺度、「学修達成」尺度の違い

アンケート項目のうち

Ⅱ-1からⅡ-14までの平均を「授業運営」尺度とする。

Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。

今年度は、授業形式（対面・遠隔・併用・全体）とのクロス集計を行わなかった。これは遠隔授業の占める割合が極端に低いためである。

学部（授業形態別）

授業運営 学修達成 ＊ 学部

	授業運営			学修達成		
所属学部	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
生活デザ	4.47	0.63	750	4.39	0.66	750
調理･製菓	4.42	0.72	1557	4.35	0.75	1557
栄養	4.07	0.79	1645	4.03	0.79	1645
幼児教育	4.28	0.75	4307	4.24	0.74	4305
観光	4.28	0.69	1001	4.23	0.70	1001
GC	4.16	0.79	325	4.02	0.77	324
経営会計	4.20	0.83	707	4.11	0.86	707
合計	4.27	0.75	10330	4.22	0.76	10327

どの学科においても、授業運営尺度と学修達成尺度はよく似た傾向にある。

授業形態

授業運営 学修達成 ＊ 授業形態

	授業運営			学修達成		
授業形態	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義・演習	4.25	9206	0.76	4.20	0.76	9203
実技・実験・実習	4.38	1224	0.71	4.37	0.71	1224
合計	4.27	10430	0.75	4.22	0.76	10427

授業規模

授業運営 学修達成 ＊ 授業規模

	授業運営			学修達成		
授業規模	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小（11～19）	4.31	0.70	1172	4.24	0.73	1172
中（20～39）	4.28	0.76	7560	4.23	0.77	7557
大（40～79）	4.20	0.73	1547	4.14	0.75	1547
特大（80～）	4.12	0.73	151	4.14	0.71	151
合計	4.27	0.75	10430	4.22	0.76	10427

学年

授業運営 学修達成 ＊ 学年

学年	授業運営 平均値	授業運営 標準偏差	授業運営 度数	学修達成 平均値	学修達成 標準偏差	学修達成 度数
1 回生	4.28	0.76	6205	4.21	0.77	6202
2 回生	4.25	0.73	4056	4.23	0.74	4056
3 回生以上・不明	4.15	0.78	169	4.18	0.78	169
合計	4.27	0.75	10430	4.22	0.76	10427

性別

授業運営 学修達成 ＊ 性別

性別	授業運営 平均値	授業運営 標準偏差	授業運営 度数	学修達成 平均値	学修達成 標準偏差	学修達成 度数
男性	4.19	0.78	331	4.16	0.75	331
女性	4.27	0.75	9822	4.22	0.76	9819
その他	3.88	0.78	65	3.85	0.79	65
合計	4.27	0.75	10218	4.21	0.76	10215

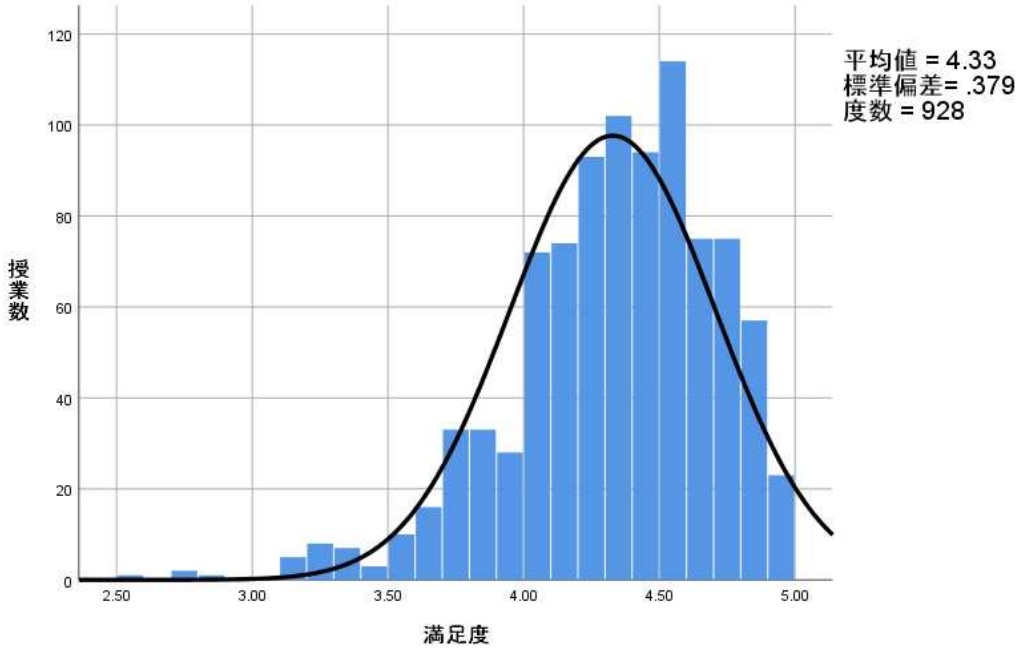
教員区分

授業運営 学修達成 ＊ 教員区分

教員区分	授業運営 平均値	授業運営 標準偏差	授業運営 度数	学修達成 平均値	学修達成 標準偏差	学修達成 度数
専任	4.29	0.73	6036	4.24	0.73	6033
非常勤	4.24	0.78	4394	4.18	0.79	4394
合計	4.27	0.75	10430	4.22	0.76	10427

専任教員の方がわずかに非常勤講師よりも両指標が高い。

◆全体満足度の分布(授業平均)



◆相関分析（全体）

	Ⅰ-2	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅰ-5	Ⅰ-6	授業運営	学修達成
Ⅰ-1　出席	.28	.02	.05	-.02	0.01	.04	.05
Ⅰ-2　熱心さ		.12	.10	-.04	.15	.35	.37
Ⅰ-3　学習時間（個別）			.58	.08	.13	.06	.09
Ⅰ-4　学習時間（全体）				.06	.13	.02	.05
Ⅰ-5　難易度					-.05	-.17	-.17
Ⅰ-6　シラバス活用						.16	.18
授業運営							.84

本報告書では質問Ⅰの各項目と、授業運営尺度および学修達成尺度との相関も求め、相関係数が r=.20以上の箇所に網掛けをした。

前期と異なるのは、難易度と2つの尺度との相関が弱まった点である。これは学習を通じて難易度が高いからと言って満足度を下げる学生が減ったものと推測される。

また、学生が熱心に授業参加しているほど、授業運営や学修達成を高く評価している（r=.35, .37）。また授業運営と学修達成には強い正の相関が認められる（r=.84）。

授業評価アンケート結果（ピアノ科目）

◆経年比較

	2020 後期		2021 前期		2021 後期	
Ⅰ授業への学生の取り組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．この授業への出席状況	3.97	1.17	4.40	0.99	4.14	1.181
２．この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	4.27	0.93	4.37	1.01	4.28	1.020
３．「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした１週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.34	1.16	2.21	1.16	2.02	1.092
４．　この授業の難易度（自分にとって）	3.29	0.77	3.35	0.72	3.35	0.600
５．私はこの授業のシラバスを活用した。	2.41	1.15	2.62	1.07	2.40	1.079
Ⅱ授業内容と授業の進め方	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.39	0.73	4.55	0.70	4.53	0.690
２．教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.43	0.71	4.63	0.61	4.57	0.696
３．教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.34	0.77	4.49	0.77	4.49	0.710
４．教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	4.39	0.72	4.55	0.70	4.54	0.680
５．学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	4.42	0.70	4.62	0.64	4.55	0.708
６．教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.41	0.71	4.60	0.65	4.52	0.676
７．　教員による実演の説明は分かりやすかった	4.41	0.74	4.53	0.77	4.56	0.721
８．教員の授業に対する熱意を感じた。	4.44	0.72	4.56	0.71	4.57	0.677
9.　(該当者のみ)対面授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	4.41	0.71	4.49	0.80	4.45	0.756
10.（該当者のみ)遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom など)を適切に使用していた。	4.36	0.78	4.33	0.92		

Ⅲ授業を通して得られたこと	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．ピアノ技能が身についた。	4.46	0.67	4.50	0.67	4.52	0.667
２．楽曲の理解力が高まった。	4.37	0.71	4.40	0.71	4.40	0.702
３．音楽に対する知的好奇心や探究心が高まった。	4.32	0.75	4.27	0.87	4.24	0.831
４．音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	4.23	0.77	4.16	0.91	4.13	0.895
５．表現する力が高まった。	4.28	0.76	4.22	0.85	4.22	0.821
６．シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度など）を達成できた。	4.13	0.83	4.13	0.87	4.04	0.880
７．これから生きていくうえで役立つと思う。	4.47	0.70	4.55	0.68	4.52	0.691
８．全体として、この授業を受けて満足した。	4.45	0.72	4.55	0.69	4.53	0.700

※23問中「1」または「5」の解答が22以上のケースは除いている。

※全ての科目が履修者数10名未満であり、それを用いて分析を行っている。

2021年度後期の各数値は、2021年度前期とほぼ同じ傾向を示している。出席回数の減少は、後期に入り対面授業が増えた事が原因と推測されるが、2020年度後期よりも向上している。

また授業満足度は4.5を超えており、教員の授業の質が担保されていると推測される。

◆相関分析

	Ⅰ-2	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅰ-5	授業運営	学修達成
Ⅰ-1　出席	.28	0.05	0.06	-0.04	0.07	.11
Ⅰ-2　熱心さ		.13	0.01	0.08	.17	.30
Ⅰ-3　学習時間（個別）			0.07	0.08	0.08	.12
Ⅰ-4　難易度				-0.01	-0.09	-.17
Ⅰ-5　シラバス活用					.22	.21
授業運営						.71

本報告書では相関分析も行い、相関係数が.2以上の箇所に網掛けをした。

一般授業のパターンと異なる箇所については、短期大学の場合いずれも10人未満の小人数であったためと考えられる。

教学改善のための授業評価アンケート

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。
学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

［記入上の注意］
① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ●　　〈悪い例〉 ◯ ◐ ◍ ✓

＜学籍番号＞（二重枠線内に学籍番号（数字7桁）を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。）

	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	←0
①	①	①	①	①	①	①	←1
②	②	②	②	②	②	②	←2
	③	③	③	③	③	③	←3
	④	④	④	④	④	④	←4
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	←5
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	←6
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	←7
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	←8
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	←9

授業科目名	
教　員　名	
曜日・時限	曜　　限

大学	経営学部 ①	短期大学	生活デザイン学科 ④	幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科　調理コース ⑤	観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科　製菓コース ⑥	グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科　フードコーディネートコース ⑦	経営会計学科 ⑫
			栄養学科 ⑧	

学年	① １年生　② ２年生　③ ３年生　④ ４年生　⑤ ５年生以上				
性別	① 男性　② 女性　③ その他（または答えたくない）	学生区分	① 一般学生　② 留学生		

Ⅰ　授業への学生の取り組み

1．この授業への出席（参加）状況	① ４回以上欠席（４回以上不参加） ④ １回欠席（1回不参加）	② ３回欠席（3回不参加） ⑤ 全回出席（全回参加）	③ ２回欠席（2回不参加）
2．この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない ④ ややそう思う	② あまりそう思わない ⑤ そう思う	③ どちらともいえない
3．「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした１週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満 ④ 3～4時間未満	② 1～2時間未満 ⑤ 4時間以上	③ 2～3時間未満
4．「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした１週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 7時間未満 ④ 21～28時間未満	② 7～14時間未満 ⑤ 28時間以上	③ 14～21時間未満
5．この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた ④ やや難しかった	② やや簡単だった ⑤ 難しすぎた	③ 適切だった
6．私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった ④ 活用した	② あまり活用しなかった ⑤ とても活用した	③ どちらともいえない

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅱ　授業内容と授業の進め方

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1．全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2．教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

Ⅱ　授業内容と授業の進め方（続き）

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
16. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）を適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ　授業を通して得られたこと

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ　自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

教学改善のための授業評価アンケート（ピアノ科目）

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。
学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

［記入上の注意］
① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ●　　〈悪い例〉 ◯ ◐ ◍ ✓

授業科目名	
教　員　名	
曜日・時限	曜　　限

＜学籍番号＞（二重枠線内に学籍番号（数字7桁）を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。）

	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	←0
①	①	①	①	①	①	①	←1
②	②	②	②	②	②	②	←2
	③	③	③	③	③	③	←3
	④	④	④	④	④	④	←4
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	←5
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	←6
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	←7
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	←8
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	←9

大学	経営学部 ①	短期大学	生活デザイン学科 ④		幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科　調理コース ⑤		観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科　製菓コース ⑥		グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科　フードコーディネートコース ⑦		経営会計学科 ⑫
			栄養学科 ⑧		

Ⅰ　授業への学生の取り組み

1．この授業への出席（参加）状況	① 4回以上欠席（4回以上不参加） ④ 1回欠席（1回不参加）	② 3回欠席（3回不参加） ⑤ 全回出席（全回参加）	③ 2回欠席（2回不参加）
2．この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない ④ ややそう思う	② あまりそう思わない ⑤ そう思う	③ どちらともいえない
3．「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満 ④ 3～4時間未満	② 1～2時間未満 ⑤ 4時間以上	③ 2～3時間未満
4．この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた ④ やや難しかった	② やや簡単だった ⑤ 難しすぎた	③ 適切だった
5．私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった ④ 活用した	② あまり活用しなかった ⑤ とても活用した	③ どちらともいえない

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅱ　授業内容と授業の進め方

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1．全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2．教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3．教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4．教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5．教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
6．教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

Ⅱ　授業内容と授業の進め方（続き）

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
10. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）を適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ　授業を通して得られたこと

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ　自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）